

PATENT OFFICE
Japanese government

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: January 21, 2000
Application Number : P2000-012900

Applicant(S) : NTT Communications Corporation

January 26, 2001

COMMISSIONER,
Patent Office Kouzou OIKAWA

Number of Certificate; 2001-300149 4

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 1月21日

願 番 号
Application Number:

特願2000-012900

願 人
Applicant(s):

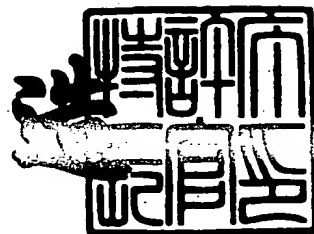
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 1月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

忍 川 耕



出証番号 出証特2001-3001494

【書類名】 特許願

【整理番号】 GLN-00129

【提出日】 平成12年 1月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明の名称】 電子カタログアグリゲーションシステム

【請求項の数】 9

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エヌ・ティ・テ
 ィ・コミュニケーションズ株式会社内

 【氏名】 伏見 修

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エヌ・ティ・テ
 ィ・コミュニケーションズ株式会社内

 【氏名】 春日 良一

【特許出願人】

 【識別番号】 399035766

 【氏名又は名称】 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100083806

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 三好 秀和

 【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

 【識別番号】 100068342

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

 【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9908855

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子カタログアグリゲーションシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 予め登録されたカタログ提供者からネットワークを介して受け取った電子カタログデータをそれぞれの項目所定の共用形式に加工する加工手段と、

加工手段により加工された電子カタログデータを格納する電子カタログデータベースと、

予め登録されたカタログ利用者から受け取ったカタログ要求情報に対応する電子カタログデータを前記電子カタログデータベースから抽出する抽出手段と、

抽出手段により抽出された当該電子カタログデータを前記カタログ要求情報で指定された形式の電子カタログに変換する変換手段と、

変換手段により変換されてできた電子カタログをネットワークを介して前記カタログ利用者に配信する配信手段と

を有することを特徴とする電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 2】 カatalog提供者から所定の入会要求情報を受け取ると、当該入会要求情報から抽出した入会審査情報が予め定めた入会条件に合致するか否かにより入会可否の判定を行う入会審査手段と、

入会審査手段による判定の結果入会可とされた場合に、当該カタログ提供者をカタログ利用者に対する電子カタログ配布元として登録するカタログ提供者登録手段と、

加工手段により電子カタログデータが加工されると、当該電子カタログデータのカタログ提供者について、カタログ提供者登録手段により登録されたカタログ提供者毎に課金データを管理するカタログ提供者課金データ管理手段と

を有することを特徴とする請求項 1 記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 3】 カatalog利用者から所定の入会要求情報を受け取ると、当該入会要求情報から抽出した入会審査情報が予め定めた入会条件に合致するか否かにより入会可否の判定を行う入会審査手段と、

入会審査手段による判定の結果入会可とされた場合に、当該カタログ利用者をカタログ提供者に対する電子カタログ配布先として登録するカタログ利用者登録手段と、

変換手段より電子カタログデータが変換されると、当該電子カタログデータのカatalog利用者について、カタログ利用者登録手段により登録されたカタログ利用者毎に課金データを管理するカタログ利用者課金データ管理手段と

を有することを特徴とする請求項 1 記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 4】 商品分類毎に共用形式を規定して管理する規定管理部を有し

加工手段は、カタログ提供者から受け取った電子カタログデータをそれぞれの項目所定の共用形式に加工する際に、当該電子カタログデータが紹介する商品が予め定めた商品分類のいずれに該当するかの判定の結果得た商品分類に対応する共用形式に加工する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 5】 カatalog利用者毎にカatalog利用形式を記憶する利用形式管理部を有し、

変換手段は、カatalog利用者からカatalog要求情報を受け取ると、利用形式管理部から取り出した当該カatalog利用者に対応するカatalog利用形式に従って電子カatalogデータベースから電子カatalogデータを抽出して電子カatalogに変換する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 6】 加工手段は、カタログ提供者から受け取った電子カタログデータを電子カタログデータベースに格納するために所定の共用形式に加工する際、不足するカタログデータ項目を抽出し、当該不足するカタログデータコンテンツを当該カタログ提供者以外から収集して格納する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 記載の電子カタログアグリゲーションシステム

ム。

【請求項 7】 変換手段は、カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従って電子カタログデータベースから電子カタログデータを抽出して電子カタログに変換する際、不足するカタログデータ項目を抽出し、当該不足するカタログデータコンテンツを当該カタログデータの提供者以外から収集して格納する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 8】 カatalog提供者課金データ管理部は、加工手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行う

ことを特徴とする請求項 6 記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【請求項 9】 カatalog利用者課金データ管理部は、変換手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行う

ことを特徴とする請求項 7 記載の電子カタログアグリゲーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数のカタログ提供者から商品に関するカタログ情報をネットワークを介して受け取り、この受け取った複数のカタログ情報を集積し、複数のカタログ利用者にネットワークを介して配信する電子カタログアグリゲーションシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

図 1 2 に示すように、複数のカタログ提供者および複数のカタログ利用者が存在する場合に、各カタログ提供者は各カタログ利用者毎にカタログ利用者が要求する商品のカタログの抽出作業、カタログ利用者が要求する形式への編集作業、カタログ利用者が要求する方式での配信作業を行う必要がある。また、各カタログ利用者は、各カタログ提供者毎にカタログの受け取り作業、カタログ利用者のシステムへの反映作業を行う必要がある。

【0003】

また、ある商品に関して、カタログ利用者が要求するカタログ情報のソースが複数に点在する場合、カタログ提供者は図 1 3 に示すように、点在する複数のソースからカタログ情報を収集してマージする必要がある。すなわち、図 1 3 に示すように、カタログ提供者は商品 A に関する説明情報および販売価格情報を所有しているが、商品 A に関する画像情報はコンテンツ所有者が所有している。このような場合において、カタログ提供者が商品 A のカタログ情報をカタログ利用者に提供しようとする場合には、カタログ提供者は、コンテンツ所有者の所有する商品 A の画像情報のコンテンツをコンテンツ所有者から収集し、自己が所有している商品 A の説明情報および販売価格情報と合わせる作業を行う必要がある。

【 0 0 0 4 】

なお、ここにおいて、カタログが E C (Electronic Commerce : 電子商取引) システムにおける販売のために作成される場合には、カタログ提供者は販売価格、商品の簡易な説明などを所有している卸業者であり、コンテンツ所有者は商品画像、CM 動画などを所有しているメーカーであり、またカタログ利用者は電子カタログを E C システムで利用するディーラーなどの販売者である。また、販売支援用のカタログを作成する場合には、カタログ提供者は商品の売り文句情報、価格などの情報を所有している営業支援部門であり、コンテンツ所有者は設計図、3 面写真、詳細なスペックなどを所有している設計部門であり、カタログ利用者は販売支援用紙または C D - R O M 電子カタログを利用する営業部分である。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

上述したように、複数のカタログ提供者およびカタログ利用者が存在する場合、各カタログ提供者は従来各カタログ利用者毎にカタログ利用者が要求する商品のカタログの抽出作業、カタログ利用者が要求する形式への編集作業、カタログ利用者が要求する方式での配信作業を行う必要があり、また各カタログ利用者は従来各カタログ提供者毎にカタログの受け取り作業、カタログ利用者のシステムへの反映作業を行う必要があるため、煩雑であるという問題がある。

【 0 0 0 6 】

また、各商品に関するカタログ情報のソースが複数に点在する場合、カタログ

提供者は複数のソースからそれぞれの情報を収集してマージする作業を行わなければならない、煩雑であるという問題がある。

【 0 0 0 7 】

本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、カタログ提供者がカタログ利用者毎に行うカタログの抽出、編集、配信作業を削減するとともに、カタログ利用者による複数のカタログの受け取り、システムへの反映作業を削減し、その効率化および迅速化を図り得る電子カタログアグリゲーションシステムを提供することにある。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項 1 記載の本発明は、予め登録されたカタログ提供者からネットワークを介して受け取った電子カタログデータをそれぞれの項目所定の共用形式に加工する加工手段と、加工手段により加工された電子カタログデータを格納する電子カタログデータベースと、予め登録されたカタログ利用者から受け取ったカタログ要求情報に対応する電子カタログデータを前記電子カタログデータベースから抽出する抽出手段と、抽出手段により抽出された当該電子カタログデータを前記カタログ要求情報で指定された形式の電子カタログに変換する変換手段と、変換手段により変換されてできた電子カタログをネットワークを介して前記カタログ利用者に配信する配信手段とを有することを要旨とする。

【 0 0 0 9 】

請求項 1 記載の本発明にあつては、カタログ提供者から受け取った電子カタログデータをそれぞれの項目所定の共用形式に加工して、電子カタログデータを格納し、カタログ利用者から受け取ったカタログ要求情報に対応する電子カタログデータを電子カタログデータベースから抽出して、カタログ要求情報で指定された形式の電子カタログに変換し、ネットワークを介して前記カタログ利用者に配信するため、従来カタログ提供者が各カタログ利用者毎に行っていたカタログの抽出作業、カタログ利用者の要求形式への編集作業、カタログ利用者の要求方式での配信作業が不要とするとともに、また各カタログ利用者が各カタログ提供者

毎に行っていたカタログの受け取り作業、カタログ利用者のシステムへの反映作業が不要となり、効率化および迅速化を図ることができる。

【0010】

また、請求項2記載の本発明は、請求項1記載の本発明において、カタログ提供者から所定の入会要求情報を受け取ると、当該入会要求情報から抽出した入会審査情報が予め定めた入会条件に合致するか否かにより入会可否の判定を行う入会審査手段と、入会審査手段による判定の結果入会可とされた場合に、当該カタログ提供者をカタログ利用者に対する電子カタログ配布元として登録するカタログ提供者登録手段と、加工手段により電子カタログデータが加工されると、当該電子カタログデータのカタログ提供者について、カタログ提供者登録手段により登録されたカタログ提供者毎に課金データを管理するカタログ提供者課金データ管理手段とを有することを要旨とする。

【0011】

請求項2記載の本発明にあっては、カタログ提供者から所定の入会要求情報を受け取ると、該カタログ提供者の入会可否の判定を行い、この判定の結果入会可とされた場合に、当該カタログ提供者をカタログ利用者に対する電子カタログ配布元として登録し、電子カタログデータが加工されると、当該電子カタログデータのカタログ提供者について課金データを管理するため、入会審査が自動化され、入会審査に関する作業を軽減することができるとともに、カタログ提供者が提供するカタログの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【0012】

更に、請求項3記載の本発明は、請求項1記載の本発明にあっては、カタログ利用者から所定の入会要求情報を受け取ると、当該入会要求情報から抽出した入会審査情報が予め定めた入会条件に合致するか否かにより入会可否の判定を行う入会審査手段と、入会審査手段による判定の結果入会可とされた場合に、当該カタログ利用者をカタログ提供者に対する電子カタログ配布先として登録するカタログ利用者登録手段と、変換手段より電子カタログデータが変換されると、当該電子カタログデータのカタログ利用者について、カタログ利用者登録手段により

登録されたカタログ利用者毎に課金データを管理するカタログ利用者課金データ管理手段とを有することを要旨とする。

【 0 0 1 3 】

請求項 3 記載の本発明にあっては、カタログ利用者から所定の入会要求情報を受け取ると、該カタログ利用者の入会可否の判定を行い、この判定の結果入会可とされた場合に、当該カタログ利用者をカタログ提供者に対する電子カタログ配布先として登録し、電子カタログデータが変換されると、当該電子カタログデータのカタログ利用者について課金データを管理するため、入会審査が自動化され、入会審査に関する作業を軽減することができるとともに、カタログ利用者が利用する電子カタログの利用形式への変換処理に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【 0 0 1 4 】

請求項 4 記載の本発明は、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の本発明において、商品分類毎に共用形式を規定して管理する規定管理部を有し、加工手段が、カタログ提供者から受け取った電子カタログデータをそれぞれの項目所定の共用形式に加工する際に、当該電子カタログデータが紹介する商品が予め定めた商品分類のいずれに該当するかの判定の結果得た商品分類に対応する共用形式に加工することを要旨とする。

【 0 0 1 5 】

請求項 4 記載の本発明にあっては、商品分類毎に共用形式を規定して管理し、電子カタログデータを所定の共用形式に加工する際に、電子カタログデータが紹介する商品が商品分類のいずれに該当するかの判定の結果得た商品分類に対応する共用形式に加工するため、商品の分類毎に規定された共用形式に加工されることにより商品の分類毎の特徴が失われず、比較的扱いやすく処理することができる。

【 0 0 1 6 】

また、請求項 5 記載の本発明は、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の本発明において、カタログ利用者毎にカタログ利用形式を記憶する利用形式管理部を有し、変換手段が、カタログ利用者からカタログ要求情報を受け取ると、利用形式管

理部から取り出した当該カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従って電子カタログデータベースから電子カタログデータを抽出して電子カタログに変換することを要旨とする。

【 0 0 1 7 】

請求項 5 記載の本発明にあっては、カタログ利用者毎にカタログ利用形式を記憶し、カタログ利用者からカタログ要求情報を受け取ると、カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従って電子カタログデータベースから電子カタログデータを抽出して電子カタログに変換するため、カタログ利用者はカタログ利用者自身が要求する所望のカタログ利用形式に変換された電子カタログを受け取ることができ、見易くなり利便性を向上することができる。

【 0 0 1 8 】

更に、請求項 6 記載の本発明は、請求項 1 乃至 5 記載の本発明において、加工手段が、カタログ提供者から受け取った電子カタログデータを電子カタログデータベースに格納するために所定の共用形式に加工する際、不足するカタログデータ項目を抽出し、当該不足するカタログデータコンテンツを当該カタログ提供者以外から収集して格納することを要旨とする。

【 0 0 1 9 】

請求項 6 記載の本発明にあっては、カタログ提供者からの電子カタログデータを所定の共用形式に加工する際、不足するカタログデータ項目を抽出し、当該不足するカタログデータコンテンツをカタログ提供者以外から収集して格納するため、従来カタログ提供者が複数のソースからカタログ情報を収集しマージしていた作業を電子カタログアグリゲーションシステムが自動的かつ効率的に行うことができる。

【 0 0 2 0 】

請求項 7 記載の本発明は、請求項 1 乃至 5 記載の本発明において、変換手段が、カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従って電子カタログデータベースから電子カタログデータを抽出して電子カタログに変換する際、不足するカタログデータ項目を抽出し、当該不足するカタログデータコンテンツを当該カタログデータの提供者以外から収集して格納することを要旨とする。

【 0 0 2 1 】

請求項 7 記載の本発明にあつては、カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従って電子カタログに変換する際、不足するカタログデータ項目を抽出し、当該不足するカタログデータコンテンツを当該カタログデータの提供者以外から収集して格納するため、従来カタログ提供者が複数のソースからカタログ情報を収集しマージしていた作業を電子カタログアグリゲーションシステムが自動的かつ効率的に行うことができる。

【 0 0 2 2 】

また、請求項 8 記載の本発明は、請求項 6 記載の本発明において、カタログ提供者課金データ管理部は、加工手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行うことを要旨とする。

【 0 0 2 3 】

請求項 8 記載の本発明にあつては、加工手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行うため、カタログ提供者が提供するカタログにおける不足データなどの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【 0 0 2 4 】

更に、請求項 9 記載の本発明は、請求項 7 記載の本発明において、カタログ利用者課金データ管理部が、変換手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行うことを要旨とする。

【 0 0 2 5 】

請求項 9 記載の本発明にあつては、変換手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行うため、カタログ提供者が提供するカタログにおける不足データなどの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【 0 0 2 6 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。図 1 は、本発明の一実施形態に係る電子カタログアグリゲーションシステムの構成を示すブロック図であ

る。同図に示す電子カタログアグリゲーションシステムは、複数のカタログ提供者装置からカタログ情報をネットワークを介して受け取り、この受け取った複数のカタログ情報を集積し、複数のカタログ利用者装置にネットワークを介して配信するシステムであり、カタログ情報を所有していて、このカタログ情報を提供する複数のカタログ提供者装置 1 a, 1 b, 1 c, 1 d, 1 e からなるカタログ提供者装置群 1、このカタログ提供者装置群 1 にインターネットを含むネットワークを介して接続され、カタログ提供者装置群 1 から複数のカタログ情報を集積するカタログアグリゲータ 3、このカタログアグリゲータ 3 にインターネットを含むネットワークを介して接続され、カタログアグリゲータ 3 から電子カタログを受け取って利用する複数のカタログ利用者装置 5 a, 5 b, 5 c, 5 d からなるカタログ利用者装置群 5、カタログアグリゲータ 3 にインターネットを含むネットワークを介して接続され、カタログ提供者装置群 1 に不足している例えば画像情報などのカタログ情報のコンテンツ情報を所有している例えばメーカーや設計部門などであるコンテンツ提供者装置 7、およびカタログアグリゲータ 3 にインターネットを含むネットワークを介して接続され、カタログ提供者装置 1 a, 1 b, 1 c, 1 d, 1 e やカタログ利用者装置 5 a, 5 b, 5 c, 5 d などである企業などの信用情報などを所有している信用調査会社 9 から構成されている。コンテンツ提供者装置 7 は、前記コンテンツ情報を格納しているコンテンツデータベース (DB) 7 a を有し、また信用調査会社 9 は各企業の知名度、財務情報、取引先、所属業界などの各種企業情報を格納している企業情報データベース (DB) 9 a を有している。

【 0 0 2 7 】

なお、カタログ提供者装置群 1 には複数のカタログ提供者装置 1 a, 1 b, 1 c, 1 d, 1 e が存在するが、これらのカタログ提供者装置を代表して記載する場合にはカタログ提供者装置群 1 と称することにする。また同様に、カタログ利用者装置群 5 にも複数のカタログ利用者装置 5 a, 5 b, 5 c, 5 d が存在するが、これらのカタログ利用者装置を代表して記載する場合にはカタログ利用者装置群 5 と称することにする。

【 0 0 2 8 】

カタログ情報を所有しているカタログ提供者装置群 1 としては、例えばコンピュータを有しているもの、ファイルだけを有しているものなどのように種々の異なる形態のものがあるので、図 1 ではカタログ提供者装置群 1 に複数のカタログ提供者装置 1 a, 1 b, 1 c, 1 d, 1 e が存在するように示されている。すなわち、図 1 において、カタログ提供者装置群 1 のうち、カタログ提供者装置 1 a はデータベース (RDB, ODB) を有し、カタログ提供者装置 1 b はホストコンピュータを有し、カタログ提供者装置 1 c および 1 d はコンピュータシステムを有していて、カタログ情報を構成する各種データファイルを XML 化し、エクセルやアクセスを用いて作成されたカタログ情報を CSV 形式にして、カタログ提供者装置 1 c は Web サーバを用いてカタログ情報をカタログアグリゲータ 3 に提供し、またカタログ提供者装置 1 d は FTP サーバを用いてカタログ情報をカタログアグリゲータ 3 に提供するものである。更に、カタログ提供者装置 1 e は XML 対応 ERP システムで構成されているものである。

【 0 0 2 9 】

カタログアグリゲータ 3 は、このように種々の形態のカタログ提供者装置群 1 から提供されるカタログ情報を受け取るようになっているが、この受け取る場合において、カタログ提供者装置群 1 のうちカタログ提供者装置 1 a, 1 b に対しては、該カタログ提供者装置 1 a, 1 b からのカタログ情報を XML 化し、カタログアグリゲータ 3 に送信するための XML 化 API 3 a および Web サーバ 1 3 b、通信用 API 3 c がカタログ提供者装置群 1 内に符号 1 3 で示すように設けられている。

【 0 0 3 0 】

カタログアグリゲータ 3 は、各カタログ提供者装置群 1 からのカタログ情報を受け取るために、PULL 型 API および PUSH 型 API を内蔵したカタログデータ収集受信部 3 3 を有している。カタログアグリゲータ 3 は、このカタログデータ収集受信部 3 3 を用いて、各カタログ提供者装置群 1 からカタログ情報を収集すると、この収集したカタログ情報をカタログ加工部 3 4 で所定のフォーマットに統一したり、正規化するなどのように所定の形式の電子カタログに加工し、この加工した電子カタログを共用カタログデータベース 3 5 に格納する。

【 0 0 3 1 】

このようにカタログアグリゲータ 3 の共用カタログデータベース 3 5 に各カタログ提供者装置群 1 から収集して加工された複数の電子カタログが格納された後において、カタログ利用者装置群 5 から電子カタログの要求がカタログアグリゲータ 3 に対して行われると、カタログアグリゲータ 3 は、この電子カタログ要求に合った電子カタログをカタログ切り出し部 3 6 により共用カタログデータベース 3 5 から検索して抽出するとともに、この抽出した電子カタログをカタログ提供者装置群 1 の所望の形式に変換し、カタログ配信部 3 7 を介してカタログ提供者装置群 1 に配信する。

【 0 0 3 2 】

なお、カタログ利用者装置群 5 には複数のカタログ利用者装置 5 a, 5 b, 5 c, 5 d が存在するが、これらの複数のカタログ利用者装置 5 a, 5 b, 5 c, 5 d はカタログアグリゲータ 3 から受け取る電子カタログの形式が異なるものであり、カタログ利用者装置 5 a はカタログアグリゲータ 3 のカタログ配信部 3 7 を介することなく、カタログ切り出し部 3 6 から直接 MO, CD-ROM で電子カタログを受け取り、カタログ利用者装置 5 b は電子カタログを CSV 対応ファイルで受け取り、カタログ利用者装置 5 c はエクセル、アクセスなどのデータファイルで受け取るようになっている。また、カタログ利用者装置 5 d は、カタログアグリゲータ 3 のカタログ配信部 3 7 からの XML 化された電子カタログデータを XML データ受信 AP 5 3 で受け取り、それからデータ変換・投入 AP 5 5 で変換して受け取るものであり、ERP システムなどで構成されているものである。

【 0 0 3 3 】

更に、カタログアグリゲータ 3 は、システムの管理、カタログ提供者やカタログ利用者の入退会の管理、カタログ確認などの管理機能を実施する管理機能部 3 1 を有する。この管理機能部 3 1 は、カタログ提供者装置群 1 およびカタログ利用者装置群 5 から WWW ブラウザ 1 1, 5 1 からそれぞれ企業情報、すなわちカタログ提供者情報およびカタログ利用者情報を受け取り、この受け取った企業情報に基づきカタログ提供者およびカタログ利用者の入会審査などを行うとともに

、その情報を記憶管理するようになっている。

【 0 0 3 4 】

以上のように構成される電子カタログアグリゲーションシステムは、図 2 にフローチャートとして示す全体的な処理の流れでカタログ提供者およびカタログ利用者の登録、入会審査、カタログ情報の抽出、収集、編集加工、格納、配信、反映などを行うとともに、これらの処理を集中管理して自動化するようになっている。

【 0 0 3 5 】

具体的には、図 2 に示すように、カタログアグリゲータ 3 は、カタログ提供者装置群 1 からのカタログ提供者の企業名などの基本情報の登録（ステップ S 1）およびカタログ利用者装置群 5 からのカタログ利用者の企業名などの基本情報の登録（ステップ S 3）を行い、これらの情報は管理用データベース 3 2 に格納される。また、この登録した各情報に基づくとともに、信用調査会社 9 から得られるカタログ提供者およびカタログ利用者の信用情報を参照してカタログ提供者およびカタログ利用者の入会審査を行う（ステップ S 5）。

【 0 0 3 6 】

この入会審査をパスしたカタログ提供者およびカタログ利用者に対して情報の提示およびサービス条件情報の登録などを行う（ステップ S 7，S 9）。このサービス条件の登録では、カタログ提供者に対しては、提供形式（ファイル、紙など）、書式（XML，CSV など）、提供データの項目名、並び順などのようなフォーマット、ラショナルライズ・カテゴライズの有無などの加工レベル、Pull・Push／プロトコルの選択、更新頻度などのようなカタログの提供方法の登録、およびサービスラインなどのように支払い方法の登録が行われる。また、カタログ利用者に対しても、提供形式（ファイル、紙など）、書式（XML，CSV など）、要求データの項目名、並び順などのようなフォーマット、画像圧縮度などの切り出しレベル、Pull・Push／プロトコルの選択、更新頻度などのようなカタログの利用方法の登録、およびサービスラインなどのように支払い方法の登録が行われる。

【 0 0 3 7 】

また、サービス条件の登録を完了すると、これで入会処理が完了したことになり、カタログ提供者とカタログ利用者との間で取引先候補の選定が信用調査会社 9 からの情報に基づき行われ（ステップ S 1 1）、この選定された取引先候補がカタログ提供者およびカタログ利用者のそれぞれに提示される。特に、カタログ提供者に対しては取り扱い分野が同じカタログ利用者のリストが提供され、またカタログ利用者に対しては取り扱い分野が同じカタログ提供者のリストが提供される。

【 0 0 3 8 】

次に、カタログアグリゲータ 3 は、各種初期設定を行う。この初期設定では、カタログ提供者に対しては、カタログ情報の書式、項目並び順などのフォーマット変換定義、カテゴライズ、用語統一などの正規化定義、ファイル形式、圧縮度などの画像編集定義などが設定される。また、カタログ利用者に対しては、電子カタログのフォーマット変換定義、用語・コード変換定義、画像編集定義などが設定される。

【 0 0 3 9 】

それから、カタログ提供者では商品リストの登録、更新が行われ（ステップ S 1 3）、またカタログ利用者ではメーカー／商品リストからの商品の選択が行われる（ステップ S 1 5）。

【 0 0 4 0 】

以上の処理が終了すると、次にカタログ提供者装置群 1 においてカタログの登録が行われ（ステップ S 1 7）、カタログ情報が抽出され（ステップ S 1 9）、この抽出されたカタログ情報がカタログ提供者の独自の形式でカタログ提供者装置群 1 からカタログアグリゲータ 3 に送信される。カタログアグリゲータ 3 は、このカタログ情報をカタログデータ収集受信部 3 3 で受け取ると、所定の共用形式の電子カタログにカタログ加工部 3 4 で変換し（ステップ S 2 1）、共用カタログデータベース 3 5 に格納する（ステップ S 2 3）。

【 0 0 4 1 】

このようにカタログ提供者装置群 1 からのカタログ情報が所定の共用形式の電子カタログに加工されて共用カタログデータベース 3 5 に格納された後、カタロ

グ利用者装置群 5 から電子カタログ要求情報をカタログアグリゲータ 3 が受信すると、カタログアグリゲータ 3 はカタログ切り出し部 3 6 により共用カタログデータベース 3 5 から前記要求情報に合った電子カタログを抽出し（ステップ S 2 5）、この抽出した電子カタログからの要求形式に変換する（ステップ S 2 7）。

【 0 0 4 2 】

そして、このようにカタログ利用者の要求形式に変換された電子カタログをカタログアグリゲータ 3 からカタログ利用者装置群 5 に送信し、カタログ利用者装置群 5 はこの電子カタログを受信する（ステップ S 2 9）。また、カタログ利用者はこの受信した電子カタログを自己の要求書式と比較して異なる場合にはその情報をカタログアグリゲータ 3 に反映することを行う（ステップ S 3 1）。

【 0 0 4 3 】

電子カタログがカタログ利用者に渡されると、上述した処理に対して課金処理が行われ、カタログ提供者およびカタログ利用者に対して料金が請求される（ステップ S 3 3）。なお、この課金処理とは、例えばカタログ提供者に対してはカタログ提供者が提供したカタログ情報に対するカタログデータ収集受信部 3 3 での受け取り処理、カタログ加工部 3 4 による加工処理を含む 1 次処理に対する課金であり、またカタログ利用者に対してはカタログ利用者が要求した電子カタログに対するカタログ切り出し部 3 6 により検索抽出および変換処理を含む 2 次処理に対する課金である。また、上述した 1 次処理および 2 次処理は、その実行された履歴が管理用データベース 3 2 に履歴情報として保存され、この履歴情報を参照して課金が行われるようになっている。

【 0 0 4 4 】

上述したように課金を行うことにより、カタログ提供者の提供するカタログの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。具体的には、カタログ提供者がカタログデータとして完璧にカタログデータを埋めてきた場合とカタログデータに抜けや間違いが多くある場合とでは、エラー処理発生頻度が異なるので、余計に生じたエラー処理分の料金が課金されることになる。

【 0 0 4 5 】

次に、図 3 ～ 図 1 1 に主としてフローチャートとして示す図面を参照して、各処理について詳細に説明する。

【 0 0 4 6 】

まず、図 3 に示すフローチャートを参照して、カタログ提供者の入会時の登録処理について説明する。図 3 に示すカタログ提供者の入会時の登録処理には、ユーザ登録とサービス登録があるが、本処理では、まずユーザ登録が行われる。このユーザ登録においては、本システムに入会しようとするカタログ提供者は、カタログ提供者装置群 1 から自分の企業名などの企業情報をカタログアグリゲータ 3 に登録する（ステップ S 4 1）。カタログアグリゲータ 3 は、カタログ提供者装置群 1 からカタログ提供者の企業情報を受け取ると、ネットワークを介して信用調査会社 9 の企業情報データベース 9 a にアクセスして、企業情報の検索要求を行い（ステップ S 4 3）、信用調査会社 9 から企業情報の検索結果として入会審査に必要となるカタログ利用者の知名度、財務情報、取引先情報、所属業界情報などの情報を受け取る（ステップ S 4 5）。そして、この受け取った情報を利用し、カタログ提供者の入会審査を行い、カタログ提供者が入会可能か否か（OK/NG）を判定する（ステップ S 4 7）。この入会審査の結果、該カタログ提供者の入会を許可する場合には、カタログ提供者に対してユーザ ID とパスワードを通知する（ステップ S 4 9）。

【 0 0 4 7 】

次に、上述した入会審査で利用した情報を利用し、カタログ提供者とカタログ利用者との間の取引先候補を選定する（ステップ S 5 1）。そして、この選定した取引先候補としてカタログ提供者には選定された既存のカタログ利用者の企業情報を通知し（ステップ S 5 3）、またカタログ利用者には選定された新規のカタログ提供者の企業情報を通知する（ステップ S 5 5）。

【 0 0 4 8 】

以上のようにして、ユーザ登録が完了すると、次にサービス登録が行われる。このサービス登録では、カタログ提供者は、カタログ提供者装置群 1 を介してカタログ提供者自身が行い得る情報の登録をカタログアグリゲータ 3 に対して行う

(ステップ S 5 7)。この情報の登録では、例えばカタログ提供者自身が行い得るサービスプラン、料金プラン、新／廃盤商品の取り扱い、更新周期などの運用ルール、取り扱っている商品の分野などの情報がカタログアグリゲータ 3 に通知され、カタログアグリゲータ 3 において管理機能部 3 1 の管理のもとに管理用データベース 3 2 に格納される。

【 0 0 4 9 】

上述したように、本実施形態では、カタログアグリゲータ 3 がカタログ提供者の入会登録をすべて自動的に行うため、入会審査に関する作業を軽減することができるとともに、更に登録者は特別な作業なしで取引先候補の情報を入手することができるようになる。

【 0 0 5 0 】

次に、図 4 に示すフローチャートを参照して、カタログ利用者の入会時の登録処理について説明する。図 4 に示すカタログ利用者の入会時の登録処理には、図 3 に示したカタログ提供者の処理と同様に、ユーザ登録とサービス登録があるが、本処理では、まずユーザ登録が行われる。このユーザ登録においては、本システムに入会しようとするカタログ利用者は、カタログ利用者装置群 5 から自分の企業名などの企業情報をカタログアグリゲータ 3 に登録する (ステップ S 6 1)。カタログアグリゲータ 3 は、カタログ利用者装置群 5 からカタログ利用者の企業情報を受け取ると、ネットワークを介して信用調査会社 9 の企業情報データベース 9 a にアクセスして、企業情報の検索要求を行い (ステップ S 6 3)、信用調査会社 9 から企業情報の検索結果として入会審査に必要となるカタログ利用者の知名度、財務情報、取引先情報、所属業界情報などの情報を受け取る (ステップ S 6 5)。そして、この受け取った情報を利用し、カタログ利用者の入会審査を行い、カタログ利用者が入会可能か否か (OK/NG) を判定する (ステップ S 6 7)。この入会審査の結果、該カタログ利用者の入会を許可する場合には、カタログ利用者に対してユーザ ID とパスワードを通知する (ステップ S 6 9)。

【 0 0 5 1 】

次に、上述した入会審査で利用した情報を利用し、カタログ提供者とカタログ

利用者との間の取引先候補を選定する（ステップ S 7 1）。そして、この選定した取引先候補としてカタログ提供者には選定された新規のカタログ利用者の企業情報を通知し（ステップ S 7 3）、またカタログ利用者には選定された既存のカタログ提供者の企業情報を通知する（ステップ S 7 5）。

【 0 0 5 2 】

以上のようにして、ユーザ登録が完了すると、次にサービス登録が行われる。このサービス登録では、カタログ利用者は、カタログ利用者装置群 5 を介してカタログ利用者自身が利用したい情報の登録をカタログアグリゲータ 3 に対して行う（ステップ S 7 7）。この情報の登録では、例えばカタログ利用者自身が希望するサービスプラン、料金プラン、新／廃盤商品の取り扱い、更新周期などの運用ルール、取り扱っている商品の分野などの情報がカタログアグリゲータ 3 に通知され、カタログアグリゲータ 3 において管理機能部 3 1 の管理のもとに管理用データベース 3 2 に格納される。

【 0 0 5 3 】

上述したように、本実施形態では、カタログアグリゲータ 3 がカタログ利用者の入会登録をすべて自動的に行うため、入会審査に関する作業を軽減することができるとともに、更に登録者は特別な作業なしで取引先候補の情報を入手することができるようになる。なお、本実施形態の入会審査は電子カタログアグリゲーションシステムに入会する場合のものに限定されるものでなく、ネットワークでの各種サービスに入会する場合の入会審査すべてに適用可能なものである。

【 0 0 5 4 】

図 5 は、上述した入会処理を示す別のフローチャートであり、基本的には上述した処理と同じであるが、簡単に説明すると、まず入会しようとするカタログ提供者またはカタログ利用者の企業名などの企業情報が入力され（ステップ S 8 1）、カタログアグリゲータ 3 はこの入力された企業情報を基にネットワークを介して信用調査会社 9 の企業情報データベース 9 a にアクセスし、この企業情報データベース 9 a から知名度、財務情報、取引先情報、所属業界情報などの企業情報を取得する（ステップ S 8 3）。そして、この取得した情報に基づくとともに、管理用データベース 3 2 内に部分的に構成されている審査条件データベースに

格納されている審査条件を参照し、カタログ提供者またはカタログ利用者が審査基準を満たしているか否かを判定する（ステップ S 8 5）。審査基準を満たしている場合には、入会を許可し、入会処理が行われるが（ステップ S 8 7）、審査基準を満たしていない場合には、入会を拒否し、その処理が行われる（ステップ S 8 9）。

【 0 0 5 5 】

次に、図 6 に示すフローチャートを参照して、カタログ提供者からのカタログ情報の収集、このカタログ情報のカタログアグリゲータ 3 による受信、所定の形式への加工、共用カタログデータベース 3 5 への格納、カタログ利用者への提供などの処理について説明する。

【 0 0 5 6 】

図 6 では、まずカタログ提供者装置群 1 からカタログデータが自動的に抽出され（ステップ S 1 0 1）、この抽出されたカタログ提供者独自のカタログデータがネットワークを介してカタログアグリゲータ 3 に送信され（ステップ S 1 0 3）、カタログアグリゲータ 3 においてカタログデータ収集受信部 3 3 で受信される（ステップ S 1 0 5）。

【 0 0 5 7 】

カタログアグリゲータ 3 は、カタログデータを受信すると、どのカタログ提供者が提供したものであるのかを判別する（ステップ S 1 0 7）。なお、この場合、カタログ提供者装置群 1 は、カタログアグリゲータ 3 がカタログデータを提供したカタログ提供者を判別しやすいようにカタログデータとともにカタログ提供者自身の識別情報をカタログデータとともに提供するようにしてもよいし、またはその他の方法でカタログ提供者を判別するようにしてもよい。

【 0 0 5 8 】

次に、カタログアグリゲータ 3 は、カタログ提供者を判別すると、カタログデータには提供するカタログ提供者毎および提供回毎に品質のばらつきが存在するため、カタログ提供者から提供されたカタログデータを解析し、このカタログデータを共用カタログデータベース 3 5 に格納するための所定の共用形式に加工するためにどのような変換処理が必要であるかを分析し、処理の必要な項目を抽出

する（ステップ S 1 0 9）。なお、この分析処理では、例えば管理用データベース 3 2 に各カタログ提供者毎のカタログデータの提供形式を格納しておき、このカタログ提供者毎のカタログデータの提供形式に基づきカタログデータを分析し、この分析に従ってカタログデータを所定の共用形式の電子カタログに変換するために必要な加工処理を判定することなどが行われるようにしてもよいものである。

【 0 0 5 9 】

また、上記分析の結果、どのような処理が必要であるかが判明すると、このカタログデータで対象とする商品の分類を判別し、この判別した商品に共用商品分類コードが付与される（ステップ S 1 1 1）。

【 0 0 6 0 】

更に、判別したカタログ提供者に合った処理ルール、すなわちフォーマットルール、表記ルール、文字コードルール、画像ルールなどの処理ルールを参照し、処理の必要な部分に対して適切な処理を自動的に実行し、カタログアグリゲータ 3 の取り決めた所定の共用フォーマットに変換する（ステップ S 1 1 3）。なお、この変換では、更にファイル形式の変換、項目の変換、項目属性の変換、項目構造の変換なども行われる。それから、またカタログデータの正規化処理が行われて、形式変換される（ステップ S 1 1 5）。この変換では文字コードの変換、表記の統一などが行われる。このようにして、所定の共用形式の電子カタログに変換された後、共用カタログデータベース 3 5 に格納される（ステップ S 1 1 7）。また、これに加えて、上述したように判別された商品の分類毎に規定された形式に変換され、共用カタログデータベース 3 5 に格納される。

【 0 0 6 1 】

上述したように、カタログ提供者から提供されたカタログデータの処理に人手作業が不要となり、自動的に処理が行われるとともに、更に商品の分類毎に形式を取り決めることにより、商品の分類毎の特徴が失われずに比較的扱いやすく管理することができる。

【 0 0 6 2 】

次に続くステップ S 1 1 9 以降の処理はカタログ利用者が電子カタログを要求

して受信するまでの処理である。この処理では、まずカタログ利用者がカタログ利用者装置群 5 を介してカタログアグリゲータ 3 に任意の契機でアクセスし、カタログアグリゲータ 3 に対して電子カタログ要求情報を送信すると、カタログアグリゲータ 3 は、どのカタログ利用者からのアクセスであるかを判別する（ステップ S 1 1 9）。この結果、カタログ利用者が判別すると、どのような形式に変更するかが決定される。それから、カタログアグリゲータ 3 は、カタログ利用者からの電子カタログ要求情報に基づき共用カタログデータベース 3 5 を検索し、カタログ利用者の電子カタログ要求情報に合った電子カタログデータを共用カタログデータベース 3 5 から抽出する（ステップ S 1 2 1）。

【 0 0 6 3 】

このように共用カタログデータベース 3 5 から抽出された電子カタログデータは、カタログ利用者の要求する所望の形式に変換される（ステップ S 1 2 3）。この変換では、表記の加工、文字コードの変換、カタログ利用者の商品分類コードの付与が行われる。それから、更にカタログ利用者用にフォーマット変換が行われる（ステップ S 1 2 5）。このフォーマット変換では、カタログ利用者に合った処理ルール、例えばフォーマットルール、表記ルール、文字コードルール、画像ルールなどの処理ルールを参照して、項目の変換、項目属性の変換、項目構造の変換、ファイル形式の変換などの適切な変換処理が行われ、カタログ利用者の要求する所望の形式で電子カタログに変換される。また、この変換に加えて、商品の分類毎に規定された形式で格納されている共用カタログデータベース 3 5 から必要な電子カタログデータが抽出され、カタログ利用者の要求する形式に変換される。

【 0 0 6 4 】

上述したように変換された電子カタログデータは、カタログアグリゲータ 3 からカタログ利用者装置群 5 に送信され（ステップ S 1 2 7）、カタログ利用者装置群 5 で受信され（ステップ S 1 2 9）、カタログ利用者装置群 5 に自動的に挿入される（ステップ S 1 3 1）。

【 0 0 6 5 】

上述したように、カタログ利用者から要求される電子カタログデータの処理が

完全に自動的に行われて、人手作業が不要となるとともに、更に商品の分類毎に取り決められた形式で格納された電子カタログデータを利用することにより、商品の分類毎の特徴が失われずに比較的扱いやすく処理することができる。

【 0 0 6 6 】

次に、図 7 に示すフローチャートを参照して、カタログ提供者から提供されたカタログデータを分析した結果、カタログデータが足りないことがわかり、この足りないカタログデータをコンテンツ提供者装置 7 から取得する処理について説明する。まず、この処理については図 8 を参照して簡単に説明する。

【 0 0 6 7 】

ある商品についてカタログ利用者が要求するカタログデータのソースが複数に点在している場合には、カタログ提供者は複数のソースからカタログデータを収集してマージする必要がある。すなわち、図 8 に示すように、カタログ提供者は、カタログ利用者 A に商品 A のカタログ情報を提供する場合において、カタログ提供者は、商品 A に関する商品の説明情報と商品の販売価格情報を所有しているが、画像などのコンテンツ情報はコンテンツ所有者が所有している場合には、カタログ提供者は、従来は図 1 3 で説明したようにカタログ提供者自身が収集しなければならなかったが、本実施形態ではカタログアグリゲータ 3 でコンテンツ所有者が収集することができる。すなわち、カタログアグリゲータ 3 は、カタログ提供者から商品 A の説明情報と販売価格情報を収集するとともに、またコンテンツ所有者から画像情報などのコンテンツ情報を直接収集し、これらの収集した複数の情報をマージして、商品 A の電子カタログを作成し、これをカタログ利用者 A に提供するようにしている。この結果、カタログ提供者が従来行っていたコンテンツ情報の収集とそのマージ作業をなくすことができる。

【 0 0 6 8 】

図 7 に示すフローチャートを参照して説明すると、まずカタログ提供者はカタログ提供者装置群 1 からカタログデータを自動で抽出し（ステップ S 1 4 1）、この抽出したカタログデータをカタログアグリゲータ 3 に送信し（ステップ S 1 4 3）、カタログアグリゲータ 3 はこのカタログデータを受信する（ステップ S 1 4 5）。

【 0 0 6 9 】

カタログアグリゲータ 3 は、カタログデータを受信すると、このカタログデータを解析し、どのカタログ提供者のものであるかを分析する（ステップ S 1 4 7）。それから、カタログアグリゲータ 3 は、このカタログデータを解析して、足りない情報、すなわち不足カタログデータを抽出するとともに、この不足カタログデータを補完する情報を所有しているコンテンツ所有者、すなわち図 1 ではコンテンツ提供者装置 7 を探索する（ステップ S 1 4 9）。すなわち、どのコンテンツ提供者装置 7 からのデータが必要であるかを判別する（ステップ S 1 4 9）。この結果、コンテンツ提供者装置 7 がわかると、このコンテンツ提供者装置 7 に対して不足カタログデータを要求し、コンテンツ提供者装置 7 から該データを自動で抽出する（ステップ S 1 5 1）。

【 0 0 7 0 】

この抽出した不足カタログデータは、コンテンツ提供者装置 7 からカタログアグリゲータ 3 に送信され（ステップ S 1 5 3）、カタログアグリゲータ 3 はこの不足カタログデータを受信すると（ステップ S 1 5 5）、この不足カタログデータをカタログ提供者から先に収集したカタログデータとマージする（ステップ S 1 5 7）。これで、カタログ加工前のデータ準備は完了したことになる。

【 0 0 7 1 】

次に、カタログアグリゲータ 3 は、このマージしたカタログデータを共用カタログデータベース 3 5 に格納するに当たり、該カタログデータを解析し、どのような加工処理、すなわち変換処理が必要であるかを分析する（ステップ S 1 5 9）。この分析の結果、どのような処理が必要であるかが判明すると、このカタログデータで対象とする商品の分類を判別し、この判別した商品に共用商品分類コードが付与される（ステップ S 1 6 1）。それから、判別したカタログ提供者に合った処理ルールを参照し、処理の必要な部分に対して適切な処理を自動的に実行し、カタログアグリゲータ 3 の取り決めた所定の共用フォーマットに変換する（ステップ S 1 6 3）。この変換では、ファイル形式の変換、項目の変換、項目属性の変換、項目構造の変換などが行われる。更に、カタログデータの正規化処理が行われて形式変換される（ステップ S 1 6 5）。この変換では文字コードの

変換、表記の統一などが行われる。このようにして、所定の共用形式の電子カタログに変換された後、共用カタログデータベース 35 に格納される（ステップ S 1 1 7）。

【 0 0 7 2 】

図 9 は、商品リストの登録および更新処理を示すフローチャートである。同図に示すように、カタログ提供者は、提供しようとする商品のリストの登録および既に登録した商品リストに変更が生じた場合にはその更新をカタログアグリゲータ 3 に対して行う（ステップ S 1 7 1）。カタログアグリゲータ 3 は、これに対して商品の分野でのカタログ利用者間の取引先候補のマッチングを行い（ステップ S 1 7 3）、マッチしたカタログ提供者／商品リストをカタログ利用者装置群 5 に通知する（ステップ S 1 7 5）。

【 0 0 7 3 】

図 1 0 は、カタログ利用者がカタログを取り扱うカタログ提供者および商品を選択する時の処理を示すフローチャートである。同図に示すように、カタログ利用者は、カタログ利用者装置群 5 を介してカタログアグリゲータ 3 にカタログ提供者と商品リストを要求する（ステップ S 1 8 1）。なお、この処理の前に本来はカタログ利用者と購買者の間で販売する商品が決定しており、選択するカタログ提供者／商品は決定している。

【 0 0 7 4 】

カタログアグリゲータ 3 は、カタログ利用者からのカタログ提供者と商品リストの要求に対してカタログ提供者と商品リストを提示する（ステップ S 1 8 3）。カタログ利用者は、この提示を見て、カタログの取引を行いたいカタログ提供者と商品リストを選択してカタログアグリゲータ 3 に通知する（ステップ S 1 8 5）。カタログアグリゲータ 3 は、この通知を受けて、カタログ利用者の選択結果を該当するカタログ提供者に通知する（ステップ S 1 8 7）。カタログ提供者は、この通知に対して選択された商品カタログの提供が可能か否か（OK／NG）を判断する（ステップ S 1 8 9）。

【 0 0 7 5 】

ここで、カタログ取引を行うカタログ利用者の要求フォーマット内に所定の共

用カタログフォーマットに含まれない項目が存在する場合には、カタログアグリゲータ 3 は、カタログ利用者装置群 5 に対してカタログ利用者の要求フォーマットと所定の共用カタログフォーマットの和集合を提示する（ステップ S 1 9 1）。カタログ利用者装置群 5 は、この提示されたフォーマットでのカタログの提供が可能か否かを判断する（ステップ S 1 9 3）。また、カタログ提供者が既に独自の形式の電子カタログを所有している場合には、この形式から要求される形式へのマッピング処理が行われる（ステップ S 1 9 5）。カタログアグリゲータ 3 は、カタログ提供者装置群 1 から受信した内容に基づいて判断した結果をカタログ利用者装置群 5 に通知する（ステップ S 1 9 7）。以上でサービス運用のための準備作業が完了し、サービスの開始がカタログ利用者装置群 5 に通知される。

【 0 0 7 6 】

図 1 1 は、上述したステップ S 1 9 1 においてカタログアグリゲータ 3 がカタログ提供者装置群 1 に対してカタログ利用者の要求フォーマットと所定の共用カタログフォーマットの和集合を提示する処理を更に具体的に示した図である。このような場合には、図 1 1 に示すように、カタログアグリゲータ 3 は、複数のカタログ利用者 A, B, C のそれぞれのカタログ利用者装置 5 a, 5 b, 5 c からそれぞれの要求フォーマットを受け取り、これらの要求フォーマットと所定の共有カタログフォーマットのすべてである和集合をカタログ提供者装置 1 n にて取得する。カタログ提供者装置 1 n は、これに対してカタログ利用者 A, B, C に対してカタログを提供することになる。

【 0 0 7 7 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、カタログ提供者からの電子カタログデータを所定の共用形式に加工して、電子カタログデータを格納し、カタログ利用者からのカタログ要求情報に対応する電子カタログデータを電子カタログデータベースから抽出して、カタログ要求情報で指定の形式の電子カタログに変換し、ネットワークを介してカタログ利用者に配信するので、従来カタログ提供者が各カタログ利用者毎に行っていたカタログの抽出作業、カタログ利用者の要求形式への編集作業、カタログ利用者の要求方式での配信作業が不要とするとともに、

また各カタログ利用者が各カタログ提供者毎に行っていたカタログの受け取り作業、カタログ利用者のシステムへの反映作業が不要となり、効率化および迅速化を図ることができる。

【 0 0 7 8 】

また、本発明によれば、カタログ提供者から所定の入会要求情報を受け取ると、該カタログ提供者の入会可否を判定し、この判定の結果入会可とした場合に、カタログ提供者を電子カタログ配布元として登録し、電子カタログデータの加工に対して電子カタログデータのカタログ提供者について課金データを管理するので、入会審査が自動化され、入会審査に関する作業を軽減することができるとともに、カタログ提供者が提供するカタログの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【 0 0 7 9 】

更に、本発明によれば、カタログ利用者から所定の入会要求情報を受け取ると、該カタログ利用者の入会可否を判定し、この判定の結果入会可とした場合に、カタログ利用者を電子カタログ配布先として登録し、電子カタログデータの変換に対して電子カタログデータのカタログ利用者について課金データを管理するので、入会審査が自動化され、入会審査に関する作業を軽減することができるとともに、カタログ利用者が利用する電子カタログの利用形式への変換処理に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【 0 0 8 0 】

本発明によれば、商品分類毎に共用形式を規定して管理し、電子カタログデータの所定の共用形式への加工では電子カタログデータが紹介する商品の商品分類に対応する共用形式に加工するので、商品の分類毎に規定された共用形式に加工され、商品の分類毎の特徴が失われず、比較的扱いやすく処理することができる。

【 0 0 8 1 】

また、本発明によれば、カタログ利用者毎にカタログ利用形式を記憶し、カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従って電子カタログデータを電子カタログに変換するので、カタログ利用者はカタログ利用者自身が要求する所望のカ

タログ利用形式に変換された電子カタログを受け取ることができ、見易くなり利便性を向上することができる。

【 0 0 8 2 】

更に、本発明によれば、カタログ提供者からの電子カタログデータの所定の共用形式への加工において不足カタログデータ項目を抽出し、当該不足カタログデータコンテンツをカタログ提供者以外から収集して格納するので、従来カタログ提供者が複数のソースからカタログ情報を収集しマージしていた作業を電子カタログアグリゲーションシステムが自動的かつ効率的に行うことができる。

【 0 0 8 3 】

本発明によれば、カタログ利用者に対応するカタログ利用形式に従った電子カタログの変換において不足カタログデータ項目を抽出し、当該不足カタログデータコンテンツを当該カタログデータの提供者以外から収集して格納するので、従来カタログ提供者が複数のソースからカタログ情報を収集しマージしていた作業を電子カタログアグリゲーションシステムが自動的かつ効率的に行うことができる。

【 0 0 8 4 】

また、本発明によれば、加工手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行うので、カタログ提供者が提供するカタログにおける不足データなどの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【 0 0 8 5 】

更に、本発明によれば、変換手段による不足カタログデータ項目の抽出作業履歴に基づく課金管理を行うので、カタログ提供者が提供するカタログにおける不足データなどの品質に応じた課金が可能となり、コストに応じた料金を回収することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施形態に係る電子カタログアグリゲーションシステムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムの全体的な処理の流れを示すフローチャートである。

【図 3】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムにおけるカタログ提供者の入会時の登録処理を示すフローチャートである。

【図 4】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムにおけるカタログ利用者入会時の登録処理を示すフローチャートである。

【図 5】

図 3 および図 4 に示したカタログ提供者およびカタログ利用者の入会処理を示す別のフローチャートである。

【図 6】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムにおけるカタログ提供者からのカタログ情報の収集、このカタログ情報のカタログアグリゲータによる受信、所定の形式への加工、共用カタログデータベースへの格納、カタログ利用者への提供などの処理を示すフローチャートである。

【図 7】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムにおいてカタログ提供者から提供されたカタログデータを分析した結果、カタログデータが足りないことがわかり、この足りないカタログデータをコンテンツ提供者装置から取得する処理を示すフローチャートである。

【図 8】

図 7 に示す処理をわかりやすく説明するための説明図である。

【図 9】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムにおける商品リストの登録および更新処理を示すフローチャートである。

【図 1 0】

図 1 に示す電子カタログアグリゲーションシステムにおいてカタログ利用者が

カタログを取り扱うカタログ提供者および商品を選択する時の処理を示すフローチャートである。

【図 1 1】

図 1 0 に示した処理のステップ S 1 9 1 においてカタログアグリゲータがカタログ提供者装置に対してカタログ利用者の要求フォーマットと所定の共用カタログフォーマットの和集合を提示する処理を更に具体的に示す図である。

【図 1 2】

従来におけるカタログ提供者のカタログ情報の抽出、編集、配信処理およびカタログ利用者のカタログ受け取り処理、反映処理を示す説明図である。

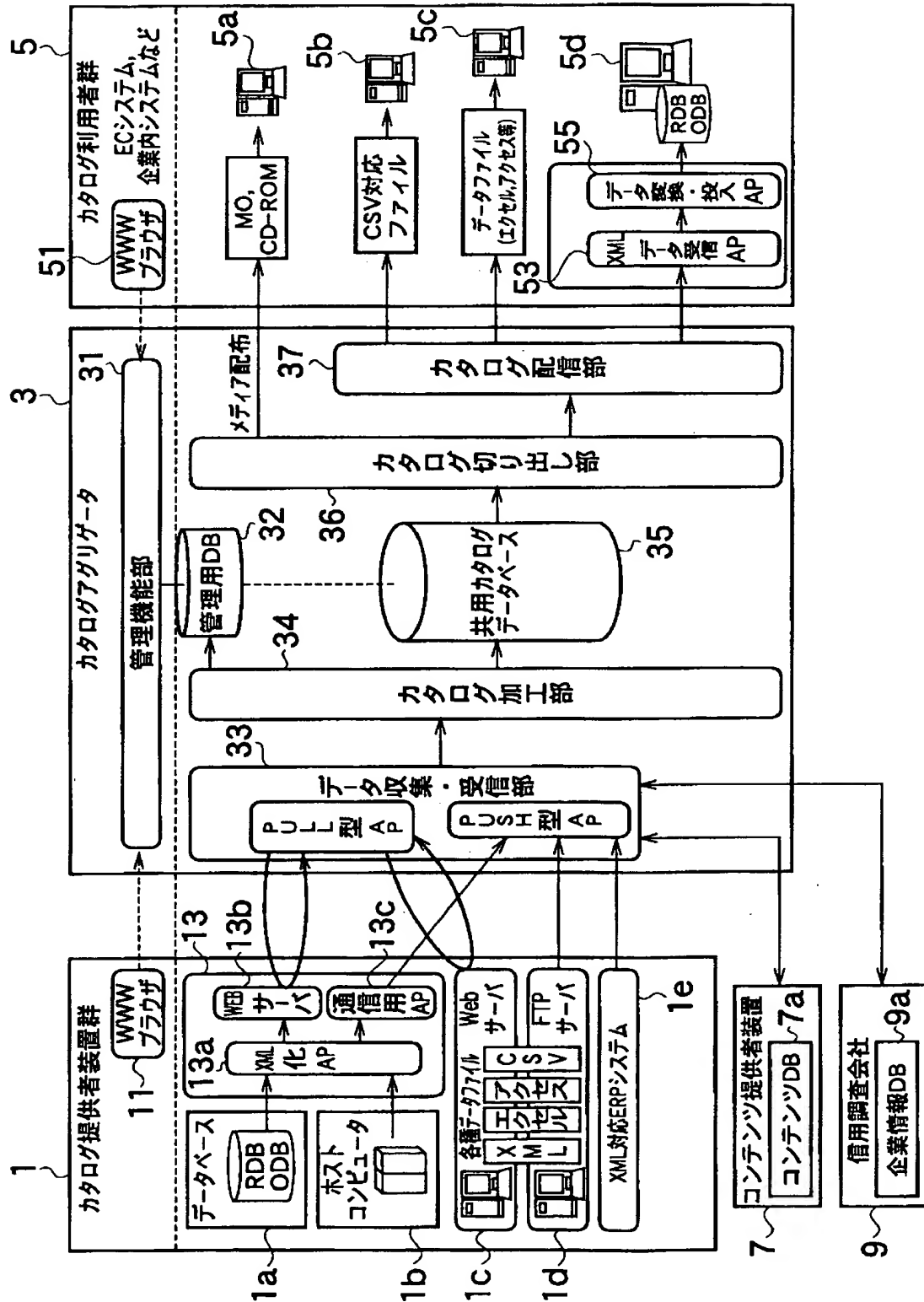
【図 1 3】

従来におけるカタログ提供者がカタログ情報を複数のソースから収集してマージする処理を示す説明図である。

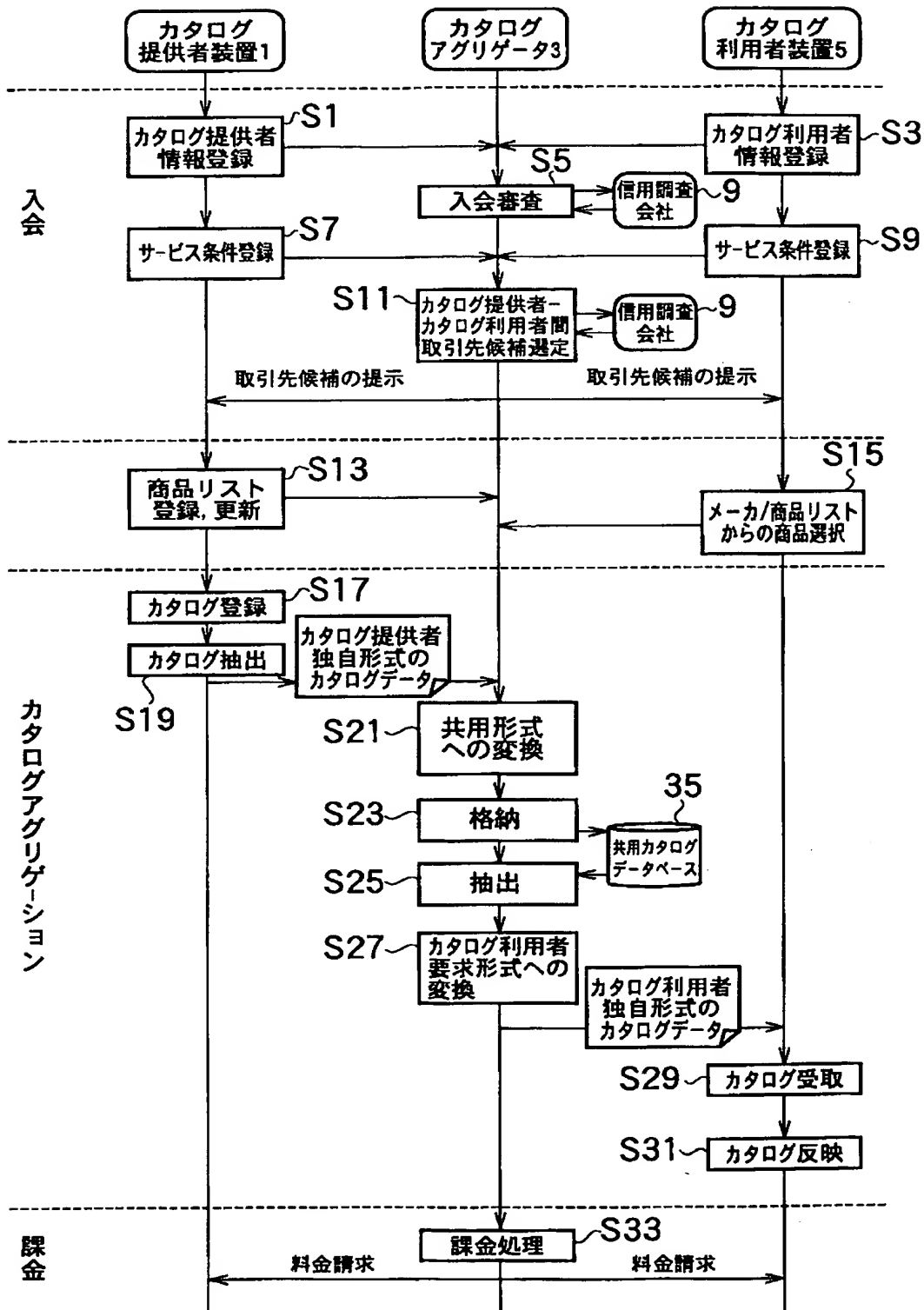
【符号の説明】

- 1 カatalog提供者装置群（カatalog提供者装置）
- 3 カatalogアグリゲータ
- 5 カatalog利用者装置群（カatalog利用者装置）
- 7 コンテンツ提供者装置
- 7 a コンテンツデータベース
- 9 信用調査会社
- 9 a 企業情報データベース
- 3 1 管理機能部
- 3 2 管理用データベース
- 3 3 カatalogデータ収集受信部
- 3 4 カatalog加工部
- 3 5 共用カatalogデータベース
- 3 6 カatalog切り出し部
- 3 7 カatalog配信部

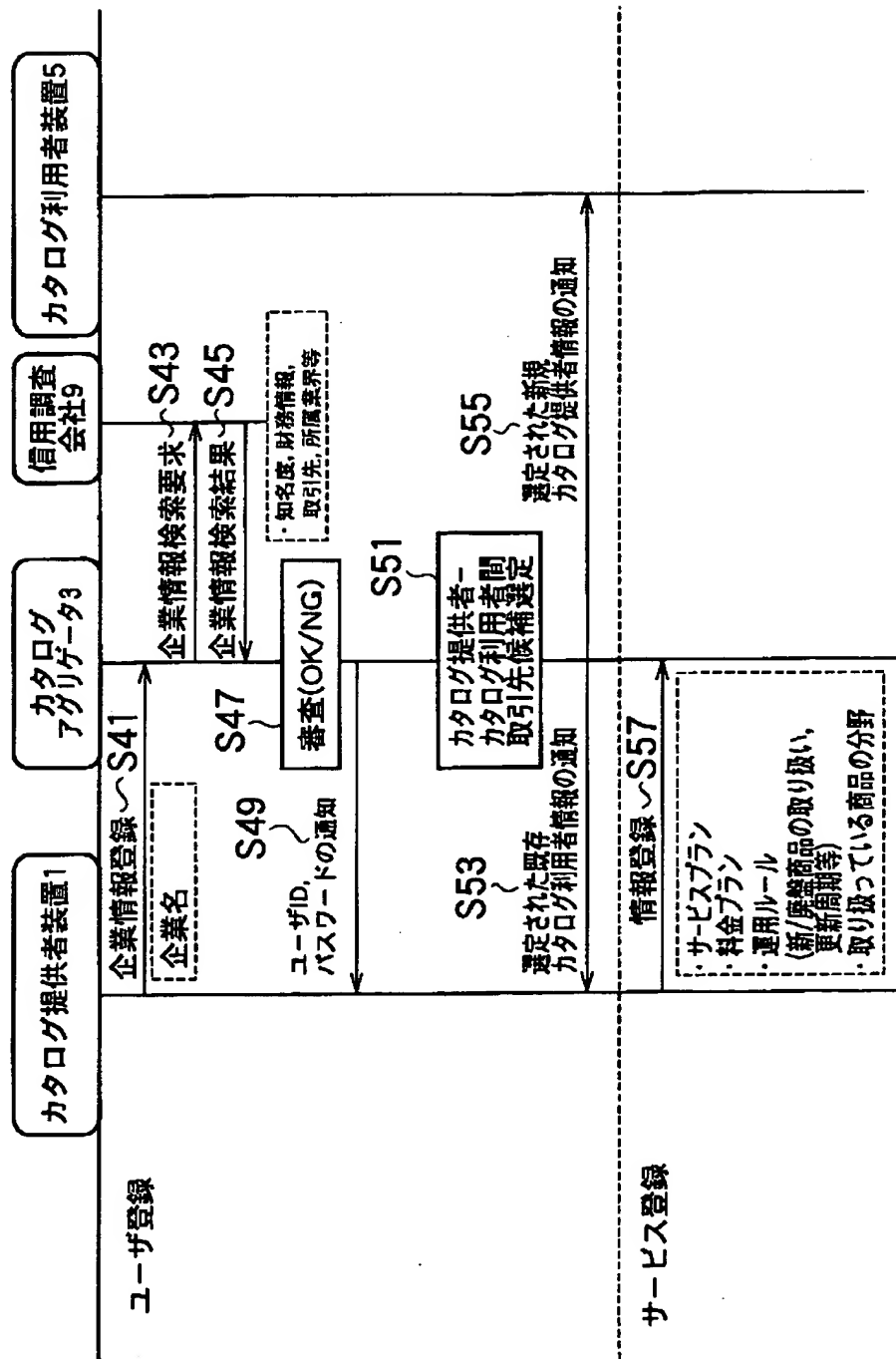
【書類名】 図面
【図 1】



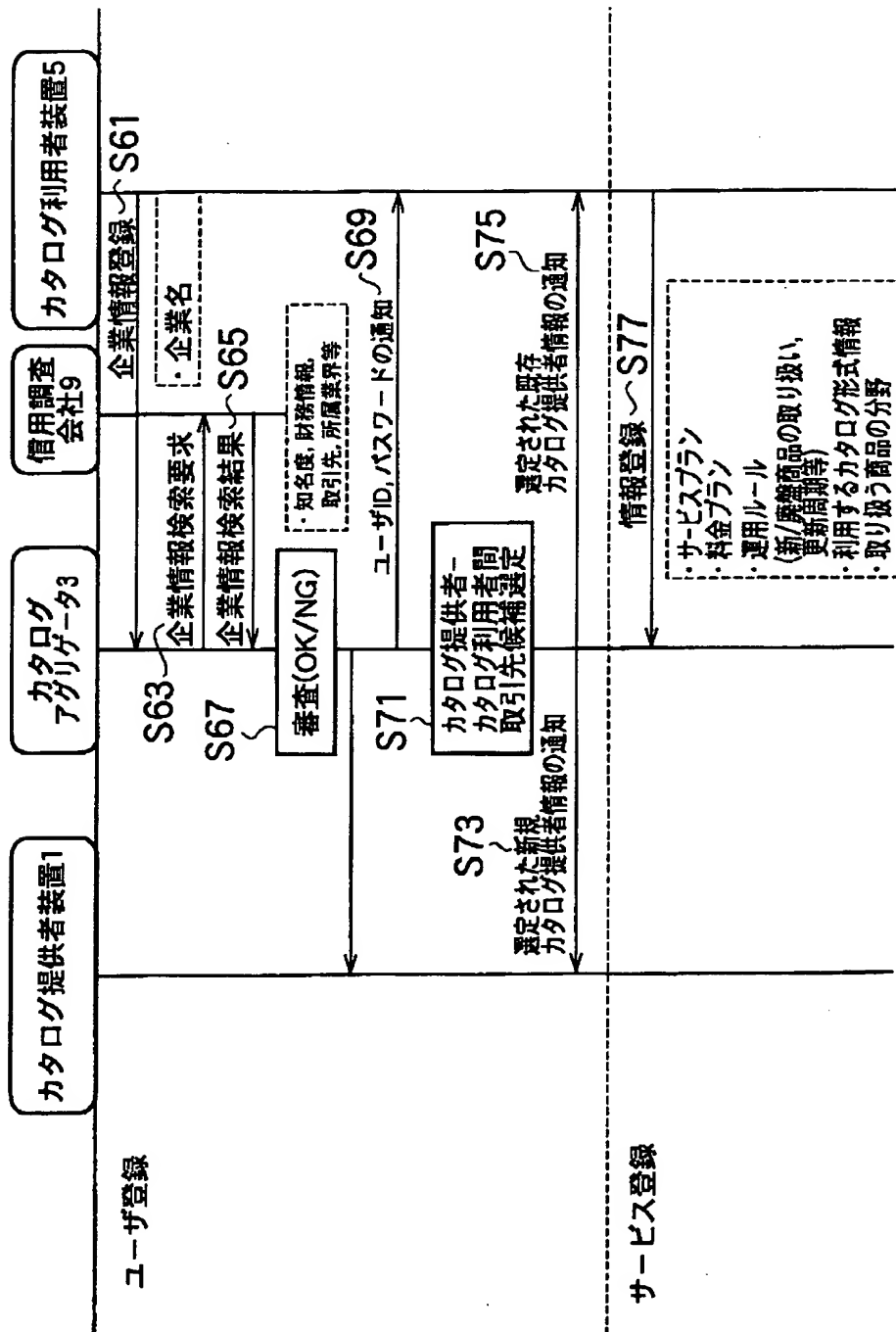
【図 2】



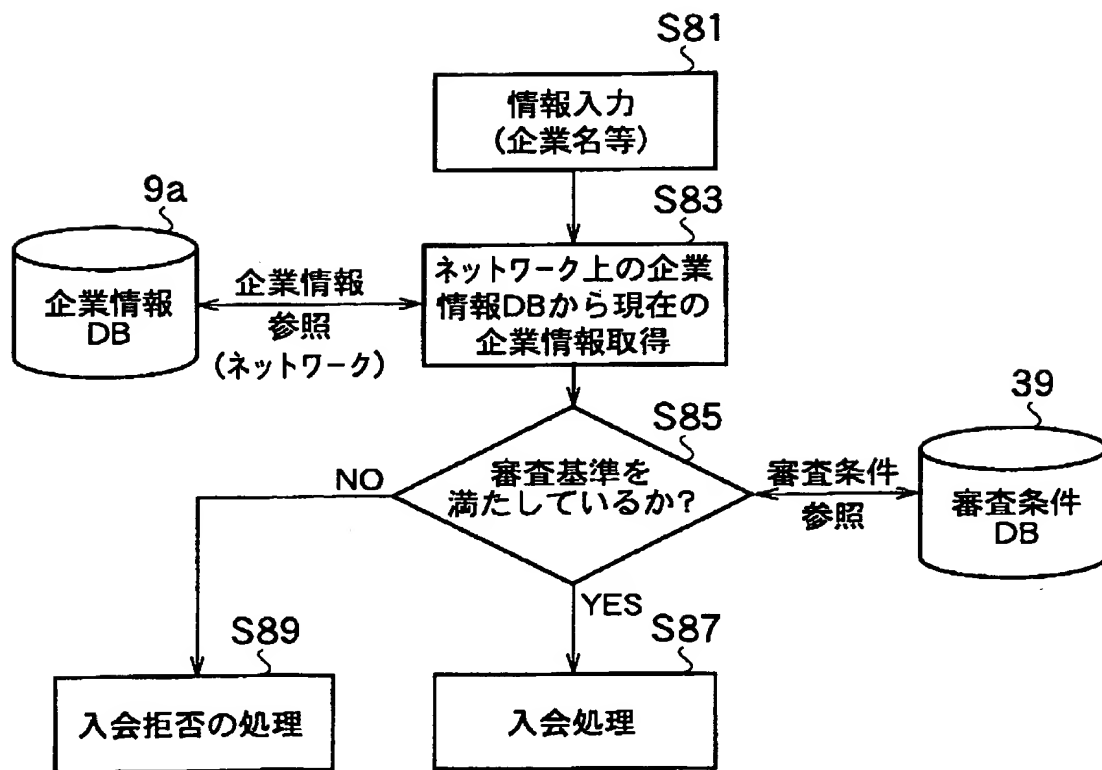
【図 3】



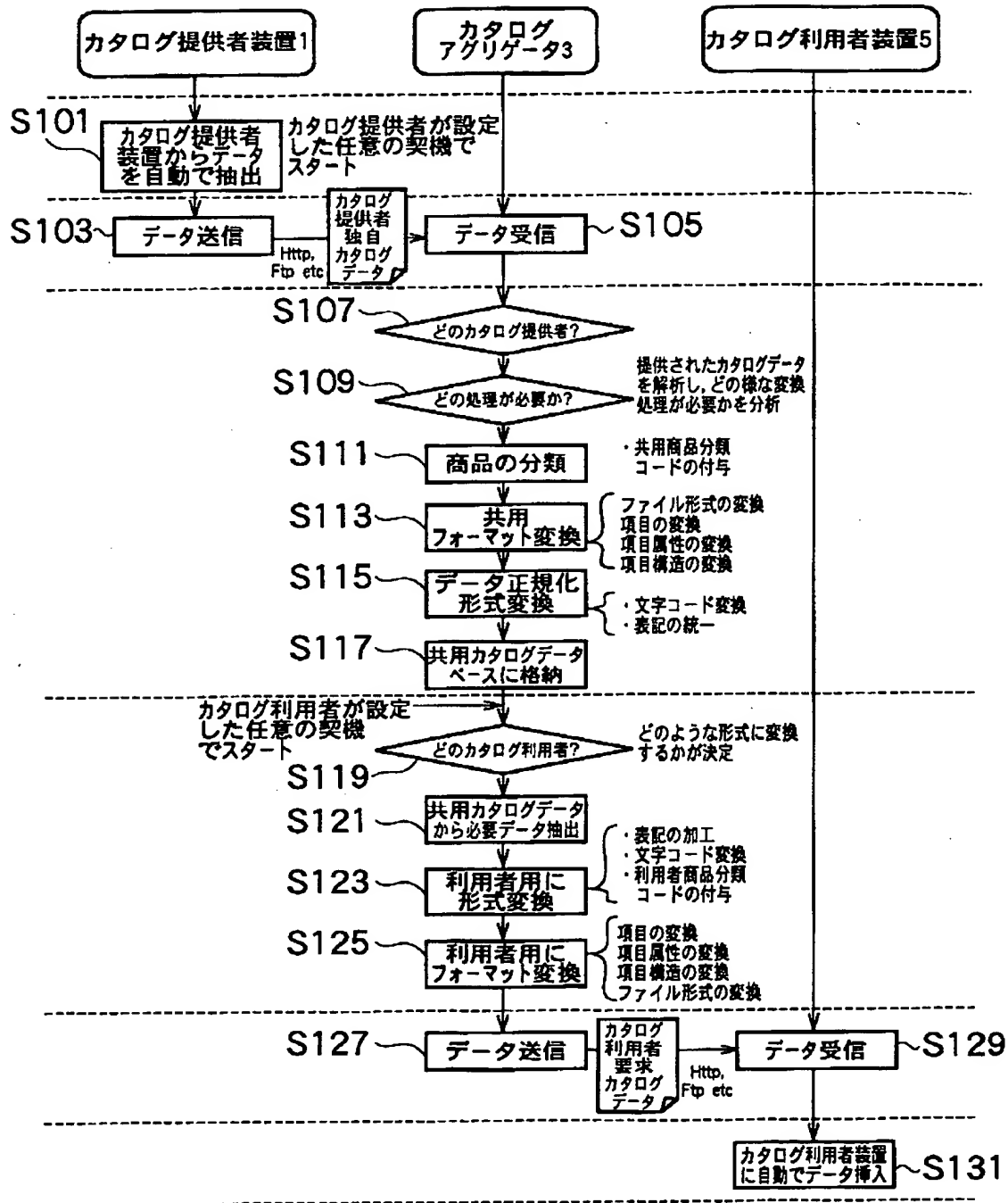
【圖 4】



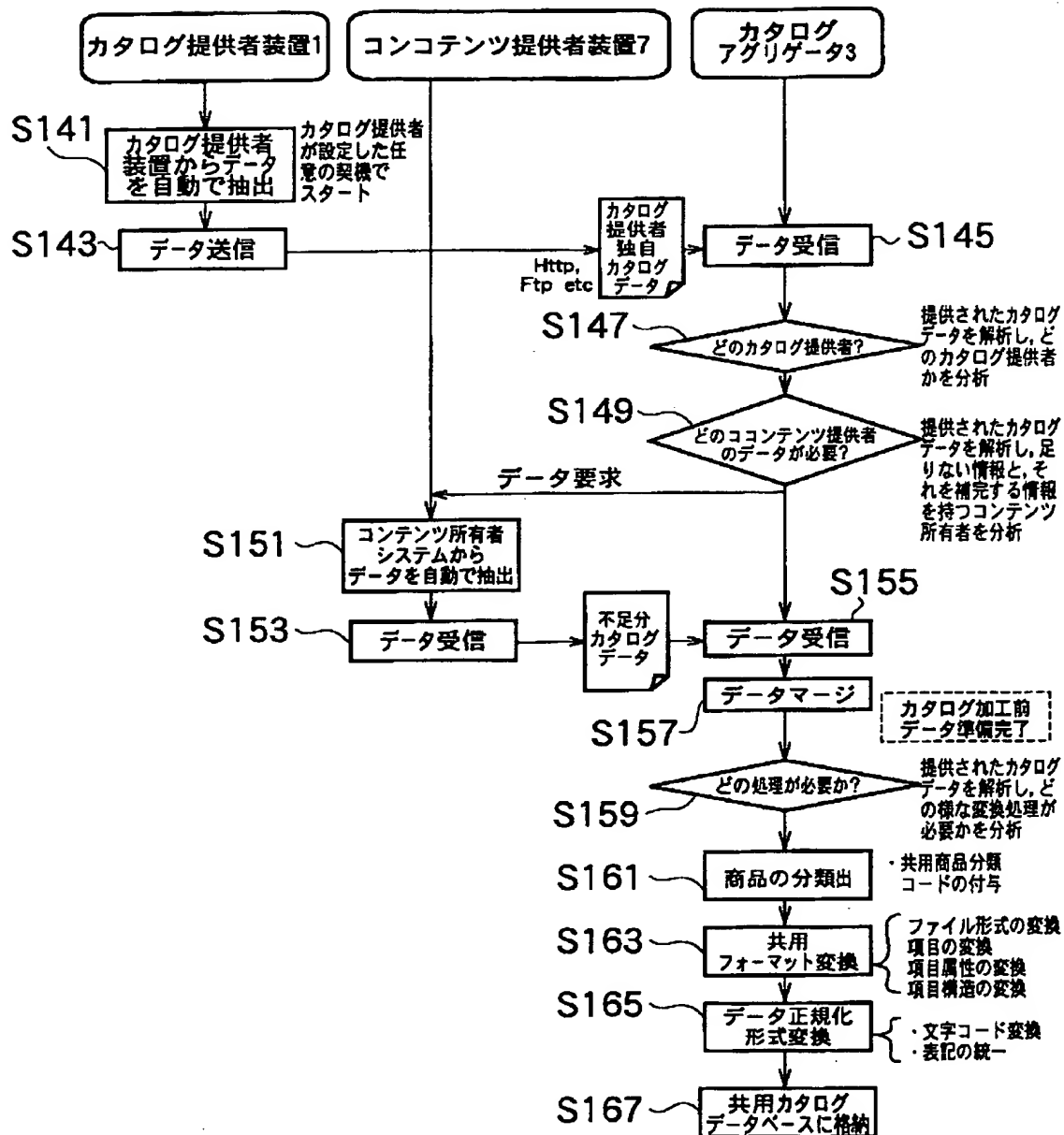
【図 5】



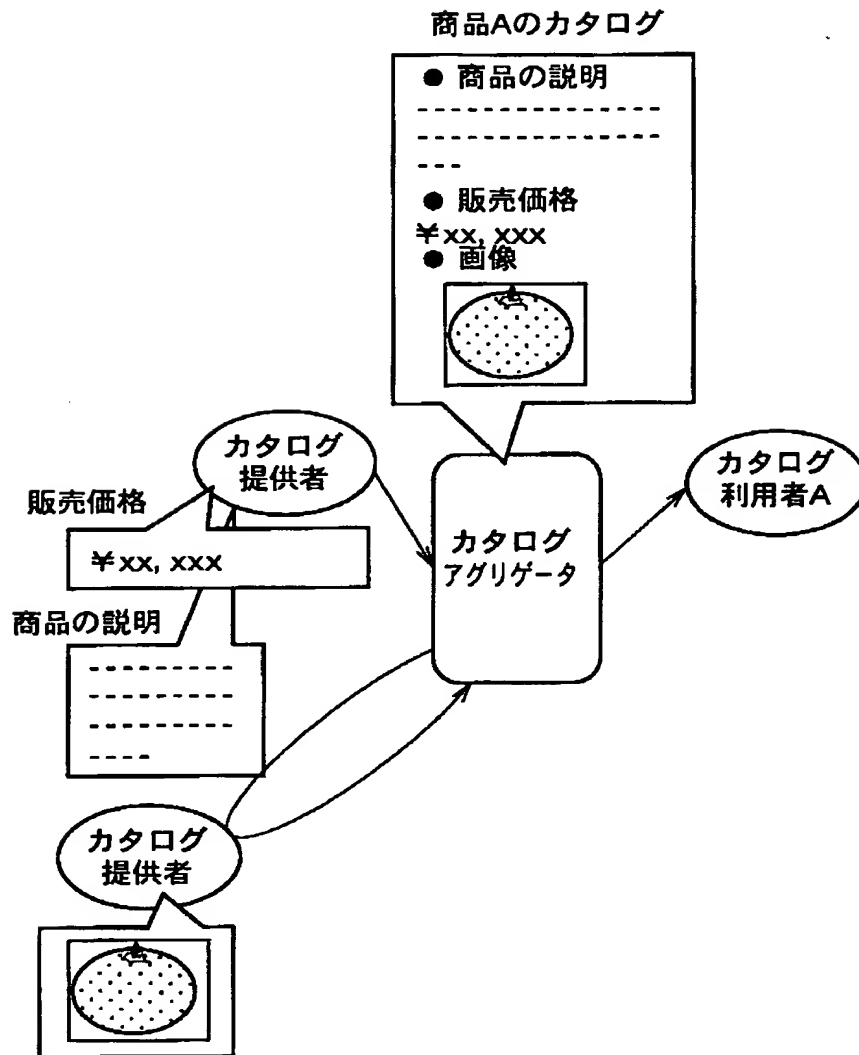
【図 6】



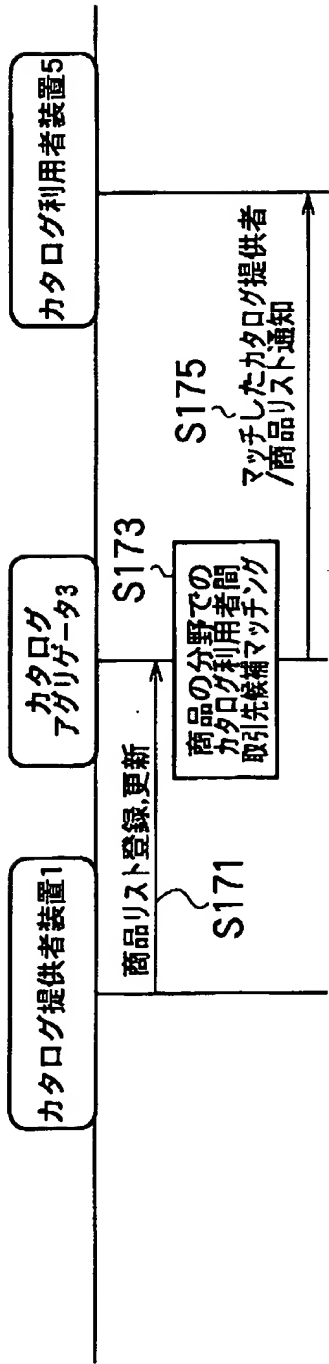
【図 7】



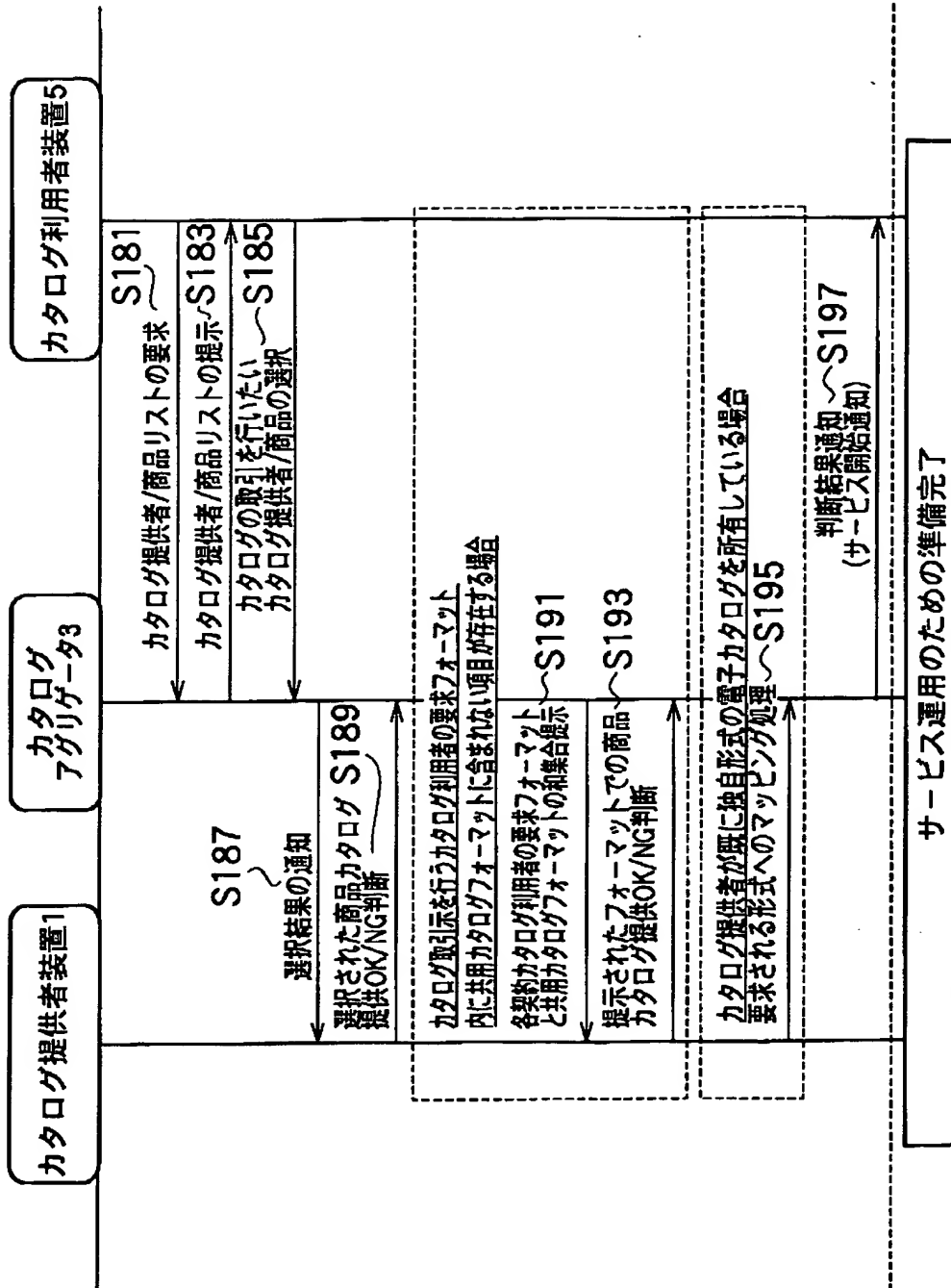
【図 8】



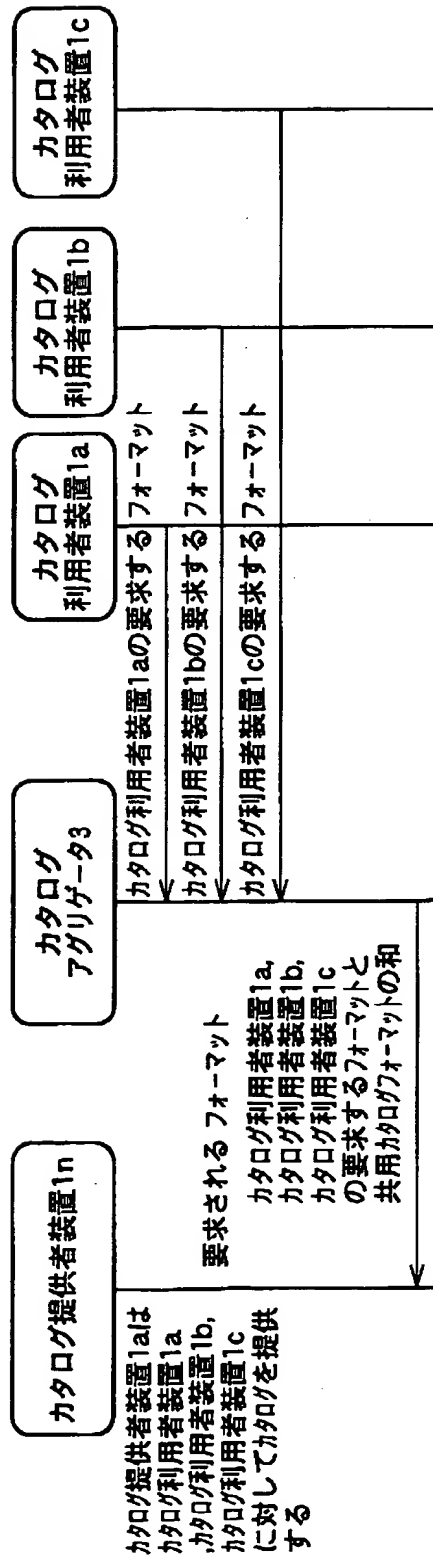
【図 9】



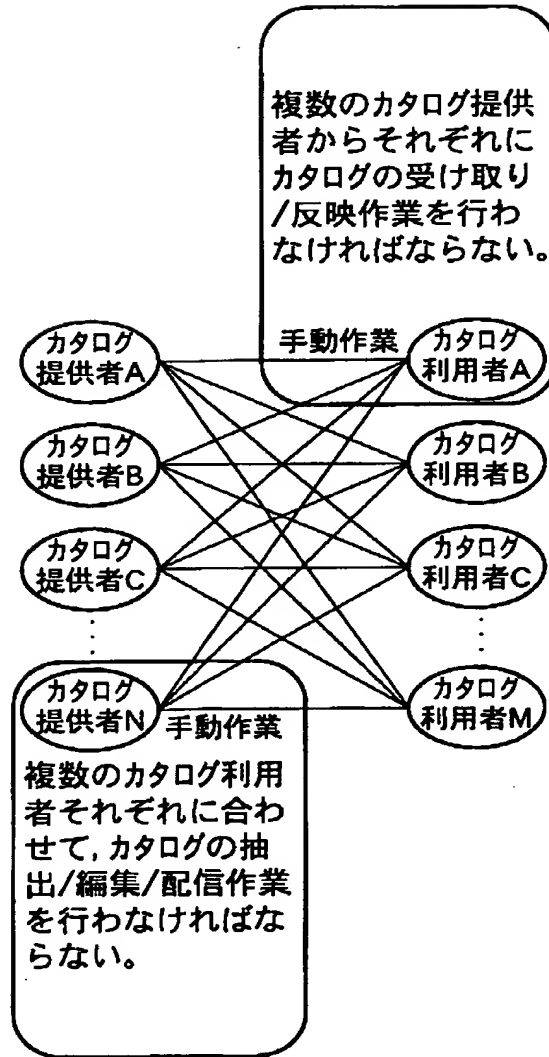
【図 1 0】



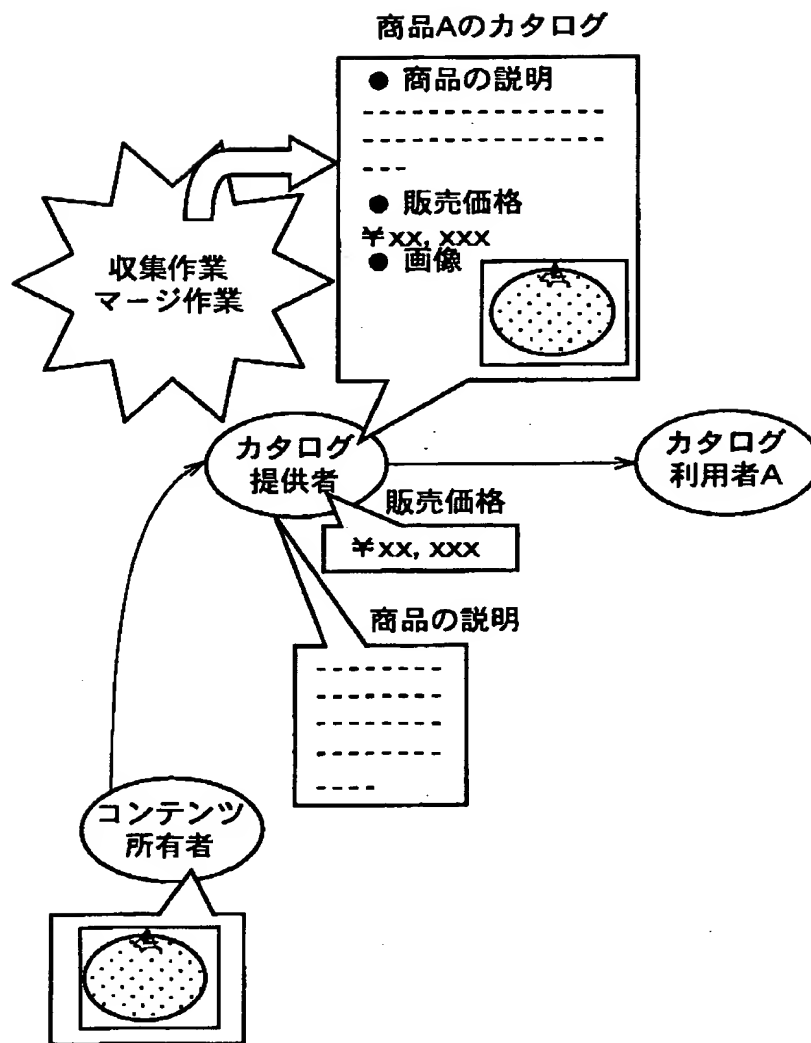
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 カタログ提供者がカタログ利用者毎に行うカタログの抽出、編集、配信作業を削減するとともに、カタログ利用者による複数のカタログの受け取り、システムへの反映作業を削減し、その効率化および迅速化を図り得る電子カタログアグリゲーションシステムを提供する。

【解決手段】 複数のカタログ提供者装置群 1 から複数のカタログ情報をカタログデータ収集受信部 3 3 を介して受け取り、この受け取った複数のカタログ情報をカタログ加工部 3 4 で所定の共用形式の電子カタログに加工して共用カタログデータベース 3 5 に格納し、カタログ利用者装置群 5 からカタログ要求情報を受け取ると、このカタログ要求情報に合った電子カタログをカタログ切り出し部 3 6 で共用カタログデータベース 3 5 から検索して抽出し、この抽出した電子カタログをカタログ利用者の要求する形式に変換してカタログ利用者に配信する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [399035766]

1. 変更年月日 1999年 6月 9日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

氏 名 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社